

第27回手術看護学会年次大会 大阪で開催

手術看護のすばらしさを、次世代に語り継ぐ

「水都大阪」の海の玄関口ベイエリアの中でも、食事・ショッピング施設が豊富な総合コンベンションゾーンである大阪南港地区にて、2012年10月18日(金)・19日(土)の2日間、第27回日本手術看護学会年次大会(会場：A.T.Cホール)が開催され、全国から手術看護に携わる看護師が集結した。

今年「未来へ続く、手術看護の探求」心に届く手術看護の道を切り開く、ナラティブによる伝承をテーマに、手術看護のプロセスの大切さや心に寄り添う手術看護のすばらしさを次世代に届け、暗黙知を言葉に変えて語り合える機会となった。研究発表は、タブレット型パソコンの活用に関する発表が今年にな

って散見されたのが、時代を反映して象徴的であった。

特別講演では、「医療者に伝えたいメッセージ」として芸能人の西川へレン氏が登壇し、家族の手術や親の介護など、ご自身の体験を見事な語りで会場を惹きこみ、参加者は笑いあり涙ありの感動につつまれた。「ナラティブ」は直訳すると「物語」語りであるが、患者やその家族にとっても医療者との出会いの中でそれぞれの人生物語が存在することを、手術看護師へ見事に伝承されたようだ。(陶守)

西日本初！ 兵庫医科大学でスタート 手術看護分野 認定看護師 教育課程



今まで唯一、手術看護分野の認定看護師教育機関であった東京女子医科大学看護学部につき、全国2箇所目となる西日本待望の教育機関が、学校法人兵庫医科大学医療人育成センターに開設され、10月15日厳かに入学式が執り行われた。入学生は男性9名・女性21名の合計30名で、出身地は北は北海道、南は九州と、まさに全国から選りすぐられた精鋭たちである。スーツ姿に身を包み緊張感漂う中にも、これから始まる6ヶ月の学生生活に期待を膨らませているよ

うに感じられた。

入学式に来賓として臨席された、日本手術看護学会の菊地京子理事長は祝辞で、「この機会に、じっくり腰をすえて業務を振り返り、学ぶ事の楽しさと厳しさを味わって欲しい。超高齢社会に向かう中、入院期間はますます短くなり、前日や当日入院があたり前になりつつあります。患者さんが安心して手術が受けられるよう、術前から術後、外来、病棟、そして地域医療とのつながりをも意識し、チーム医療の中心を担う人材として日本の看護を牽引してください」とエールを送った。

式後、取材に応じて頂いた木村幸子氏(入学生代表)は、「今まで、手術看護師として多くの時間を一つの病院内で過ごしてきました。この機会を得て、他施設の取り組みもしっかり吸収し、判断力をつけていきたいと思っています。1期生のプレッシャーを感じますが、しっかりと学んで成果を出したい。」と意気込みを語った。(陶守)



木村幸子氏
 【プロフィール】
 兵庫医科大学病院
 手術センター(入学生代表)

リブドゥブラスも大好評！

展示風景



と従来のスパンレース不織布が、まるで布地売場のように飾られ、その風合いと手触りの違いを自由に確かめられる。振り返れば、リア性能実験を見学しながら詳しい説明が聞けるラボスペースがあるなど、手に触れ、目で見て実感できる空間となった。また、今回新しく導入したタッチパネル式受付システムは、従来のような手書きの煩わしさがなくなり、来場者からご好評をいただいた。まるでアパレルショップのような雰囲気、まさに手術用ドレープ展示のブラスだとは途中まで気付かない方もいたくらいだったが、最後にはしっかりとこのリブダスIIの良さを認識していただけたようだ。(庄畑)

東海地区学会が、初の試み!

手術室看護師向け メイクアップセミナー

11月16日(土) 第55回日本手術看護学会東海地区学会 総会にて、当社協賛によるメイクアップセミナーが開講された。

キットメーカーであるリブドゥがなぜ化粧の話をもと疑問に思われる方も多いに違いないが、そもそもキットメーカーにとって商品を提供する目的は、看護師さんの



目元の化粧方法の違いで印象がガラッと変わる様子に、驚く受講者。

手術準備や片づけ時間を短縮することの先にある。それは、キットで短縮できた時間を「看護師さんにはできない本来業務に、より専念してもらう」ことであり、キットはその環境づくりをサポートする手段に過ぎない。

今回は、周術期看護における接遇という視点から、マスクやキャップをした看護師の目元の印象だけでも、患者さんに安心感を与える要素のひとつになるのでは...そんな気が付からこの企画がスタートした。

講師には、資生堂ライフクオリティー事業とのタイアップで、^{これたよりえ}是枝里重先生をお招きした。

セミナーは、各60分で構成され4回実施し、のべ200名の方が受講した。セミナーの冒頭では、笑顔レスンや

ハンドマッサージなど毎回違うワンプォイントアドバイスを織り交ぜつつ、メインテーマは目元もしくは眉のメイクアップに絞られ、講師の説明を聞きながらの実習形式。「目と眉の化粧方法が違う同じ人の笑顔に、マスクとキャップをするとうどう見えるか」の比較が、前面のスクリーンに映し出された瞬間、その印象の差に受講者から「わー」と驚きの声があがる場面も。終始笑い声があふれる空間はなごやかに進んだ。

通常業務に加え、委員会や勉強会と、日々多忙を極める手術室看護師さん。時にはこの様に、ほっと息抜きしながら患者さん視点で看護を見つめていただく機会も良いのではないだろうか。院内の職場づくりに少しでもお役立ていただければ幸いです。(庄畑)



説明を受けながら、それぞれ真剣に鏡に向かいました。

〈受講者のご感想〉

まゆ毛のかき方を教えてもらい、いい表情になれた気がする。

眉の描き方だけで印象が変わる事がわかった。

化粧によって表情が変わってしまうことや、やさしいメイクの仕方がわかった。

メイクは医療や福祉に貢献できると思います。

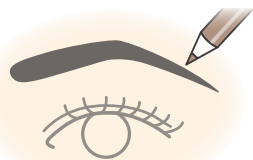


教えて! やさしい眉の描き方のポイント

ペンシルタイプの眉墨は、つつい力が入ってしまい、一本線のように濃い眉になってしまいがちです。描くときはペンシルを寝かせて、弱いタッチで一本一本描きます。

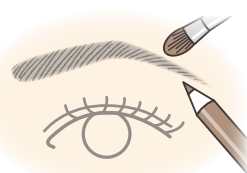
- ① 眉頭、眉山、眉尻の3点をペンシルでとり、眉山→眉尻、眉山→眉頭の順番で描きます
- ② 一本一本足していくように描きます
- ③ アイブローパウダーでまわりや内側のくっきりした線をぼかします

× 単調なベタ眉

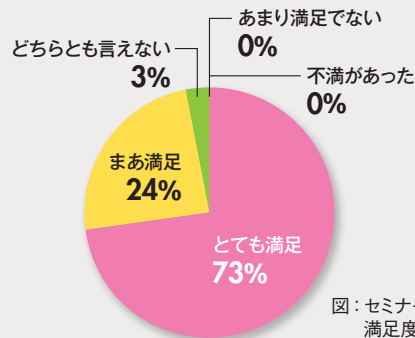


ペンシルで描いただけと線がくっきり

○ 濃淡のある立体眉



ペンシルのタッチやアイブローパウダーを使うことで持ちも良く自然な仕上がり



図：セミナー受講者の満足度 (n=104)

資生堂ライフクオリティー事業 <http://www.shiseido.co.jp/lifequality/>

「Livedo topics」

介護用品ブランド「リブドゥ」から、施設や病院の常備に大変便利な「嘔吐物処理セット(手間なしティスポタイプ)」を発売しました。2次感染を防ぐ第一歩として迅速な対応が必要な、嘔吐物の処理に必要なものがすべて揃っており、処理後はダンボール箱ごと廃棄できます。



セット内容
ウオーターバッグ、ハイタータブレット、プラスチックガウン、サージカルマスク、ニトリル手袋(2色)、リフレ便利なワイドシート、リフレやわらかドライタオル、ビニール袋(3色)

「編集後記」

気がつけば、イルミネーションが輝く街頭にクリスマスソングが流れ、いやが上にも師走・年末年始のイベントに思いを馳せます。と同時に、今年お世話になった方々との楽しい会話や心温まる「冷や汗かいた!?」エピソードが、走馬灯のようによみがえります。個人的には、10年来の恩師との永別があり、10年ぶりの恩師との再会がありました。お二人から授かった数々の教えが色あせる事は一度もありませんが、今年は一段と輝きを増し、心に深く刻みこまれる事となりました。さて、来年はどんな出逢いが待っているのでしょうか。

編集長 陶守久美子